

【文化人の先生の授業 4年】

# 櫻井 敬朔先生「自分の想いを書に表そう」

4年生

11月14日(火) 11月21日(火) 11月28日(火) 12月2日(土)

ねらい

自分の想いを「書」で表すことができる。

## 活動の流れ

日時	活動内容
11月14日(火)	<p>1 漢字の成り立ちについて学習する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字には意味があることを知る。</li> </ul> <p>2 筆に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のお手本を見て、筆の勢いや線の太さによって字が表すイメージに違いがあることに気付き、書く人の思いが字に込められることを知る。</li> <li>・筆のつかい方でいろいろな太さの線が書けることを知り、実際に「風」を書いてみる。</li> </ul>
11月21日(火)	<p>3 事前に考えておいた漢字一文字を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の想いを筆に込めて書く。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に込めた自分の思いを発表し、櫻井先生や友達と作品を批評し合う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

日時	活動内容
11月28日(火)	<p>4 事前に考えた文章を「書」で表す。 ・自分の思いを筆に込めて書く。</p>   <p>5 何枚か書いて、櫻井先生や友達と作品を批評し合う。</p>  
12月2日(土)	<p>6 前回までの学習で書いた自分の好きな文字や文を振り返り、もう一度挑戦したい方を選び作品作りを行う。 ・周りの友達と互いの作品を鑑賞し、アドバイスをし合いながら作品を仕上げる。</p>   <p>7 活動を終えての感想を発表する。 8 櫻井先生に感謝の気持ちを込めてあいさつをする。</p>

**【授業を終えて】**

授業の始めに櫻井先生から漢字の成り立ちを教えていただいた。第2日目には、先生のアドバイスを受けながら「自分の思い」を漢字一文字で表すことができた。第3日目は書きたい短文を「書」で表した。1枚書くごとに互いの作品を批評する時間を設け、作品に込めたそれぞれの思いを発表したり感想を言ったりし、それを聞いた児童はアドバイスをする、という活動を行った。櫻井先生からもそれぞれの作品の良さを教えていただき、作品の見方を身に付け、自分の作品に対する愛着や思いを確かなものとすることができた。

後日、それぞれが書いた作品の中から、櫻井先生が1番良い作品を選び、その作品に落款(子供たちが自分で彫った)を捺してくださった。子供たちは落款の捺された作品を手にするると、うれしそうな顔を見せ、櫻井先生に感謝の気持ちをもつことができた。

学習後、新出漢字の練習をする際、つくりが同じ漢字について、「読みが同じだ。」など、教えていただいたことを思い出してつぶやく姿が見られるなど、漢字についての興味を更に深めることができた。

